

ブナ林結実調査結果について

中部森林管理局では、平成17年度から長野・富山・岐阜・愛知各県の国有林内に所在するブナ林において結実調査を実施しており、26年度の調査結果は以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

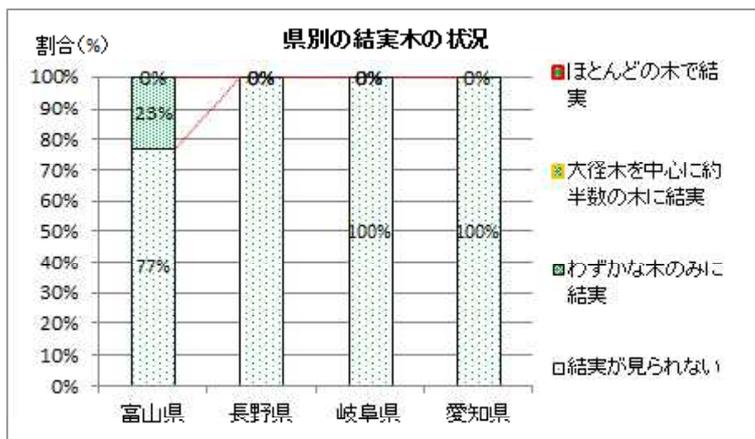
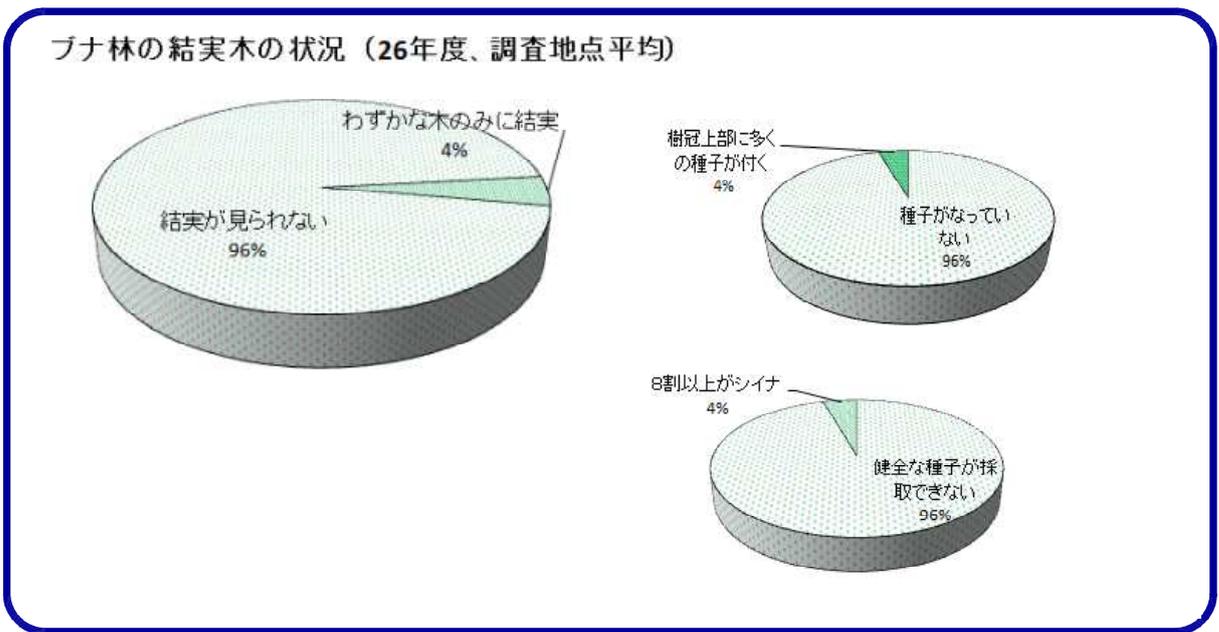
記

1 結実の状況について

ブナの果実が熟す10月に、35国有林の112地点のブナ林を調査したところ、「わずかな木に結実がある」が4%で、96%の林では結実がほとんど見られませんでした。

結実のある木では、樹冠の上部に多く付いている木が4%見られるものの、樹冠全体に付いている状況にはなく、また、落下した種子においては、8割以上が種子の中身がない「シイナ」となっています。

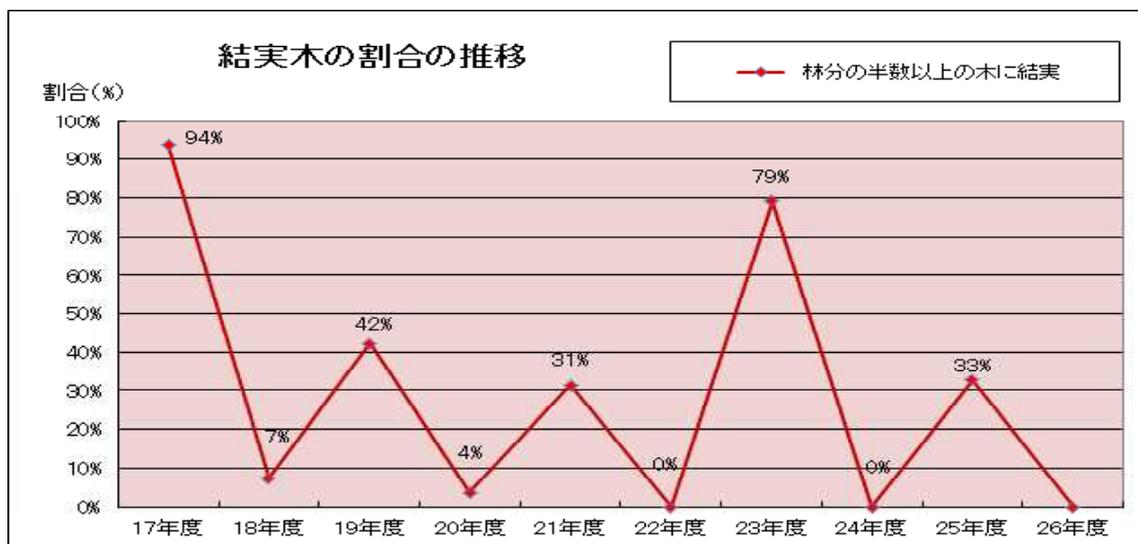
県別では、富山県でわずかな木に結実が確認されたものの、長野・岐阜・愛知県ではほとんど結実が見られない状況です。



割合：各県調査地点数の平均
 富山県：22地点
 長野県：29地点
 岐阜県：53地点
 愛知県：8地点

2 調査結果の推移について

平成17年度からの推移では、1年毎に結実の多少を繰り返し、17年度と23年度は多くの木に結実が見られましたが、その間はわずかな木にしか見られないなどで推移し、26年度は過去の周期と同じく結実の少ない年となっています。



なお、調査箇所は別添のとおりです。

【参考】その他の堅果類の状況について

今年度は、ブナ以外の広葉樹についても目視による結実状況を調べました。

長野県及び岐阜県の一部の地域ではクリ、ナラ、トチノキに若干の結実が確認されましたが、結実が確認されない地域が多く、各県とも堅果類の結実はごく少ない状況にあります。

<問い合わせ先>

中部森林管理局 技術普及課

技術開発主任官 黒田

TEL 026-236-2624 FAX026-236-2611

中部森林管理局管内ブナ林結実調査箇所図

Location Map of National Forests and Forest Offices in Chubu

